

## 学会だより

### 集会の案内

#### ◇ 第15回国際分子・植物・微生物相互作用学会のご案内

第15回国際分子・植物・微生物相互作用学会(XV International Congress on Molecular Plant-Microbe Interactions)が国立京都国際会館において2011年8月2日(火)～6日(土)の期間に開催されます。組織委員会からの概略情報、参加申し込み等の詳細は、同学会ホームページ(<http://mpmi2011.umin.jp/>)をご参照ください。

#### ◇ EUCARPIA (European Association for Research on Plant Breeding) 2011年開催イベントのご案内

EUCARPIA (European Association for Research on Plant Breeding) から、2011年に開催する8イベントの案内がありました。詳細は <http://www.nacos.com/jsb/02/02PDF/2011EucarpiaNews.pdf> (EUCARPIA news) をご覧ください。

### 研究助成公募の案内

#### ◇ (財) バイオインダストリー協会 JBA 三賞公募のお知らせ

(財) バイオインダストリー協会では、「バイオインダストリー協会賞」・「化学素材研究開発振興財団記念基金「グラント」研究奨励金」・「発酵と代謝研究奨励金」の候補者を募集して顕著な業績を顕彰し、有望な研究者に対し研究奨励金の交付を行っております。詳しくは、ホームページ (<http://www.jba.or.jp/index.html>), 募集案内をご覧ください。

### 談話会だより

#### ◇ 北海道地区

下記の日本育種学会・日本作物学会 北海道談話会の年次講演会ならびに総会を開催した。

平成22年度 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会一般講演会

日時：平成22年12月4日(土) 10:00～16:45

場所：北海道大学農学部本館(N11, N21, N31室)

演題：システム変異を有する低分子量グルテニン遺伝子を導入した形質転換コムギの解析 ○船附稚子・Paola Tosi・伊藤美環子・Huw D. Jones・Caroline Sparks・Amanda Riley・西尾善太・田引正・山内宏昭・Peter R. Shewry (北海道農業研究センター) / 「蘇麦3号」の抵抗性 QTL を

導入した小麦準同質遺伝子系統の赤かび病抵抗性と農業特性 ○鈴木孝子<sup>1</sup>・足利奈奈<sup>2</sup>・来嶋正朋<sup>2</sup>・神野裕信<sup>2</sup>・西村努<sup>1</sup>・吉村康弘<sup>2</sup> (1. 道総研中央農試, 2. 道総研北見農試) / 北海道における秋まきコムギ品種の赤かび病抵抗性とカビ毒蓄積性 ○小林聡・池谷(斉藤)美奈子・山名利一・吉村康弘(道総研北見農試) / 秋播きコムギ「北見85号」の強稈性と耐倒伏性の評価法について ○佐藤三佳子・来嶋正朋・小林聡・神野裕信・吉村康弘(道総研北見農試) / 白粒コムギ系統の種子休眠性と農業形質向上にむけたマーカー利用選抜 ○藤井雅之・大西一光・三浦秀穂(帯広畜大) / ゼンコウジコムギ由来の白粒コムギ系統の発芽温度反応の解析 ○横石智彦・大西一光・三浦秀穂(帯広畜大) / 強力粉・薄力粉適性に優れた強種子休眠性白粒コムギ系統の作出に向けて ○山本淳生・三浦秀穂・大西一光(帯広畜大) / コムギの粒色遺伝子 *R-A1*, *R-B1*, *R-D1* と種子休眠性との関係 ○道下佳乃子・三浦秀穂(帯広畜大) / コムギ穂発芽耐性(種子休眠性) 遺伝子 *QPhs.ocs-3A1* の精密マッピング ○加藤緑<sup>1</sup>・大西一光<sup>1</sup>・小池倫也<sup>2</sup>・厩田淳史<sup>2</sup>・加藤清明<sup>1</sup>・三浦秀穂<sup>1</sup> (1. 帯広畜大, 2. ホクレン農総研) / 葉化穎不稔 (*lhs=OsMADS1*) との2重変異体がシュート状小穂を示すイネ奇形小穂の遺伝解析 ○大島健人・塩飽宏輔・千葉あや乃・高牟禮逸朗(北大農) / イネのF1雑種による転移酵素遺伝子の発現変動 ○高橋浩司・高須温子・石黒聖也・貴島祐治(北大院農) / イネの薬培養によるガメトクローン変異および穂別系統内分離 ○林和樹・岡本吉弘・我妻尚広(酪農学園大学院) / *Wx-a* 遺伝背景におけるイネ低アミロース性遺伝子 *qLAC6h* と *qAC9.3* の効果 ○松葉修一・船附稚子・黒木慎・横上晴郁・清水博之(北海道農業研究センター) / イネの分げつに関する突然変異体の解析 ○建部えり子<sup>1</sup>・得字圭彦<sup>1</sup>・佐藤毅<sup>2</sup>・高牟禮逸朗<sup>3</sup>・加藤清明<sup>1</sup> (1. 帯広畜産大, 2. 道総研上川農試, 3. 北大院農) / イネの新たな少分げつ突然変異体の解析 ○古川佳織<sup>1</sup>・船引厚志<sup>1</sup>・佐藤毅<sup>2</sup>・高牟禮逸朗<sup>3</sup>・加藤清明<sup>1</sup> (1. 帯広畜産大, 2. 道総研上川農試, 3. 北大院農) / イネの少分げつ突然変異体 *rcn1-like* の解析 ○船引厚志<sup>1</sup>・得字圭彦<sup>1</sup>・高牟禮逸朗<sup>2</sup>・加藤清明<sup>1</sup> (1. 帯広畜産大, 2. 北大院農) / イネの太稈突然変異体の解析 ○松野弘宗<sup>1</sup>・大川泰一郎<sup>2</sup>・得字圭彦<sup>1</sup>・佐藤毅<sup>3</sup>・高牟禮逸朗<sup>4</sup>・加藤清明<sup>1</sup> (1. 帯広畜産大, 2. 東京農工大, 3. 道総研上川農試, 4. 北大院農) / イネの分げつ伸長におけるハーフサイズのABCタンパク質の機能解析 ○松田修一<sup>1</sup>・船引厚志<sup>1</sup>・建部えり子<sup>1</sup>・稲田のりこ<sup>2</sup>・柳川由紀<sup>3</sup>・得字圭彦<sup>1</sup>・高牟禮逸朗<sup>3</sup>・加藤清明<sup>1</sup> (1. 帯広畜産大, 2. 奈良先端大学院大, 3. 農研機構作物研究所, 4. 北大院農) / ヒユ類の発芽特性について ○石川枝津子・白木一英(北海道農業研究セン

ター)／バレイショ品種における乾燥逃避性に関連する特性 ○出口哲久<sup>1</sup>・伊藤英悟<sup>1</sup>・古川恵<sup>1</sup>・松本学<sup>1</sup>・市川伸次<sup>2</sup>・河合孝雄<sup>2</sup>・岩間和人<sup>1</sup> (1. 北大院農, 2. 北大北方生物圏フィールド科学センター)／根量の異なるバレイショ品種における吸水特性の評価 ○古川恵<sup>1</sup>・出口哲久<sup>1</sup>・伊藤英悟<sup>1</sup>・松本学<sup>1</sup>・市川伸次<sup>2</sup>・河合孝雄<sup>2</sup>・岩間和人<sup>1</sup> (1. 北大院農, 2. 北大北方生物圏フィールド科学センター)／圃場で栽培したバレイショ「コナフブキ」において主茎数が根形質に及ぼす影響 ○伊藤英悟<sup>1</sup>・出口哲久<sup>1</sup>・古川恵<sup>1</sup>・松本学<sup>1</sup>・市川伸次<sup>2</sup>・河合孝雄<sup>2</sup>・岩間和人<sup>1</sup> (1. 北大院農, 2. 北大北方生物圏フィールド科学センター)／バレイショ C × E マップ集団における根形質の年次間相関 ○三浦紗土<sup>1</sup>・岩佐倫希<sup>1</sup>・桑原亘平<sup>1</sup>・吉川亜紗子<sup>1</sup>・市川伸次<sup>2</sup>・Visser R<sup>3</sup>・岩間和人<sup>1</sup> (1. 北大院農, 2. 北大北方生物圏フィールド科学センター, 3. ワーゲンニンゲン大学)／バレイショ根量の品種間差異における、ポット栽培と圃場栽培との比較 ○桑原亘平<sup>1</sup>・岩佐倫希<sup>1</sup>・三浦紗土<sup>1</sup>・吉川亜紗子<sup>1</sup>・市川伸次<sup>2</sup>・岩間和人<sup>1</sup> (1. 北大院農, 2. 北大北方生物圏フィールド科学センター)／2008年から2010年におけるジャガイモ生育の年次変異 ○岡田昌宏<sup>1</sup>・西中未央<sup>2</sup>・森元幸<sup>2</sup>・三浦秀穂<sup>1</sup> (1. 帯広畜大, 2. 北農研センター)／2010年におけるバレイショ塊茎の中心空洞発生の品種間差 ○西中未央<sup>1</sup>・田宮誠司<sup>1</sup>・森元幸<sup>1</sup> (北海道農業研究センター)／ジベレリン処理がバレイショの収量構成に及ぼす効果 ○今村講平<sup>1</sup>・辻哲正<sup>1</sup>・松本明彦<sup>1</sup>・天野克幸<sup>1</sup>・仁坂悟<sup>1</sup>・山田龍太郎<sup>2</sup>・森元幸<sup>2</sup> (1. 種管セ中央, 2. 北農研)／ポテトチップス加工用バレイショの最適貯蔵条件の検討 ○津山睦生<sup>1</sup>・植村弘之<sup>1</sup>・遠藤千絵<sup>2</sup>・森元幸<sup>2</sup> (1. カルビーポテト株式会社, 2. 北海道農業研究センター)／体細胞選抜技術によるそうか病抵抗性バレイショ系統作出の試み ○富田謙一 (道総研中央農試)／マルチプレックス PCR による3種のジャガイモシストセンチュウ抵抗性遺伝子マーカーの同時検出 ○浅野賢治・保坂和良・森元幸 (北農研)／トマトの生育および食味に対する $\alpha$ -ピネンと $\beta$ -ピネン施用の効果 ○山室佳央里<sup>1</sup>・本多博一<sup>2</sup>・徳橋和也<sup>2</sup>・秋本正博<sup>1</sup> (1. 帯広畜大, 2. 大朗物産有限公司)／ホウレンソウから見出された性決定遺伝子の対立性検定, ○山本和輝・小野寺康之・三上哲夫 (北大院農)／テンサイで利用可能な薬特異的プロモーター ○倉田昌幸・松平洋明・鏡豊代・久保友彦・三上哲夫 (北大院農)／テンサイの Marker Assisted Selection (MAS) 育種に向けた Taqman-SNP マーカーの作成 ○田口和憲<sup>1</sup>・岡崎和之<sup>1</sup>・久保友彦<sup>2</sup>・三上哲夫<sup>2</sup> (1. 北海道農業研究センター, 2. 北大院農)／形態および分子マーカーによるテンサイ (*Beta vulgaris*) の自然交雑の検出 ○黒田洋輔・高橋宙之・田口和憲・岡崎和之・阿部英幸 (農研機構・北海道農研センター)／テンサイ生産力検定試験にみる2010年の特異的気象条件の影響 ○高橋宙之・田口和憲・岡崎和之・黒田洋輔・阿部英幸 (農研機

構・北海道農業研究センター)／テンサイ種子の越冬性と抽苔について ○中司啓二 (北海道農業研究センター)／バイオマス用テンサイの育種における飼料ビートの利用について ○岡崎和之・田口和憲・黒田洋輔・高橋宙之 (北海道農業研究センター)／分枝特性における日米ダイズ品種間の比較—栽培密度反応— ○義平大樹<sup>1</sup>・田中逸美<sup>1</sup>・最首祐一<sup>1</sup>・小阪進一<sup>1</sup>・白岩立彦<sup>2</sup> (1. 酪農学園大学, 2. 京大院農)／ダイズ無毛じ形質および「ヒメシラズ」由来耐虫性 QTL のマメシクイガ子実食害に対する効果 ○大西志全・田中義則・藤田正平 (道総研中央農試)／2009年十勝管内で発生した大豆出芽不良の要因について ○三好智明<sup>1</sup>・高宮泰宏<sup>1</sup>・高田法幸<sup>2</sup>・田中義則<sup>1</sup> (1. 道総研十勝農試, 2. 十勝農業協同組合連合会)／2010年の高温が十勝地方のダイズ収量に与えた影響 ○山口直矢・鈴木千賀・萩原誠司・三好智明・田中義則 (道総研十勝農試)／小豆遺伝資源「Acc259」由来のアズキ萎凋病抵抗性と落葉病のレース1, 2抵抗性は独立に遺伝する ○小倉玲奈<sup>1</sup>・鈴木孝子<sup>1</sup>・田澤暁子<sup>2</sup>・佐藤仁<sup>2</sup>・島田尚典<sup>3</sup> (1. 道総研中央農試, 2. 道総研十勝農試, 3. 道総研北見農試)／生育速度 (DVR, DVI) によるアズキの生育と開花のモデル化 ○村田吉平 (道総研十勝農試)／開花期低温処理における小豆高度耐性系統の特性 ○堀内優貴<sup>1</sup>・島田尚典<sup>2</sup>・佐藤仁<sup>1</sup> (1. 道総研十勝農試, 2. 道総研北見農試)／2009, 2010年における小豆品種の開花・着莢特性 ○山崎敬之<sup>1</sup>・佐藤三佳子<sup>1</sup>・黒崎英樹<sup>1</sup>・佐藤仁<sup>2</sup>・笠島真也<sup>3</sup> (1. 道総研北見農試, 2. 道総研十勝農試, 3. 東京農業大学)／ミゾソバにおける葉緑体ゲノムの遺伝変異 ○横田仁美・我妻尚広・岡本吉弘 (酪農学園大学院)／「キタワセソバ」の子実成分の品種内変異 ○森下敏和・六笠裕治・鈴木達郎 (北海道農業研究センター)／ソバの生育と収量におよぼすアカクロバすき込みの影響 ○吉田智美<sup>1</sup>・森高伸<sup>2</sup>・我妻尚広<sup>3</sup>・岡本吉弘<sup>3</sup> (1. 幌加内町農業技術センター, 2. 空知農業改良普及センター, 3. 酪農学園大学)／開花時の摘芯処理がダットンソバの生育と収量におよぼす影響 ○福井瞳・秋本正博 (帯広畜大)

第12巻・第4号における『第260回日本育種学会・第243回日本作物学会 北海道談話会例会 シンポジウム「食糧自給率の向上は地球温暖化ガス排出を削減する」』との記述は、『日本作物学会と、日本育種学会・日本作物学会 北海道談話会の共催によるシンポジウム「食糧自給率の向上は地球温暖化ガス排出を削減する」』の誤りでした。訂正いたします。

金澤章 (北海道大学大学院農学研究院)

## ◇ 中国・四国地区

中国地域育種談話会

第2回中国地域育種談話会が、2010年12月18日(土)、

19日(日)に鳥取大学農学部(実行委員長:辻本壽)において開催された。以下の基調講演3題では、鳥取大学が維持・保存しているきのこニホンナシの遺伝資源とそれらの育種、および鳥取県で育成されたナガイモ新品種が紹介された。さらに以下のポスター発表24題が行われた。いずれも中国5県の大学・研究機関から53名が参加し、活発な議論が交わされた。19日(日)には、参加者のうち32名が鳥取大学乾燥地研究センターを訪問し、乾燥地における砂漠化防止および開発利用に関する研究内容が紹介され、同時に施設見学が行われた。

#### 【基調講演】

1:きのこの遺伝資源と遺伝育種。松本晃幸(鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター) 2:ニホンナシの遺伝資源と育種。田村文男(鳥取大学農学部) 3:ナガイモ新品種‘ねばりっ娘’の育成とその特性。前田英博(鳥取県農林水産部農林総合研究所園芸試験場)

#### 【ポスター発表】

P-01:コムギ系統“超極早生”がもつ早生遺伝子の解析。川上耕平<sup>1</sup>・新田みゆき<sup>2</sup>・西田英隆<sup>1</sup>・藤田雅也<sup>3</sup>・那須田周平<sup>2</sup>・明石由香利<sup>1</sup>・加藤鎌司<sup>1</sup>(1. 岡山大学, 2. 京都大学, 3. 九沖農研センター) P-02:コムギにおける日長反応性遺伝子 *Ppd-D1* の発現解析。田中啓二郎・井内佑樹・西田英隆・明石由香利・加藤鎌司(岡山大学) P-03:オオムギにおける新規日長反応性 QTL の解析。土屋昌宏<sup>1</sup>・塔野岡卓司<sup>2,3</sup>・青木恵美子<sup>2</sup>・西田英隆<sup>1</sup>・吉岡藤治<sup>2</sup>・明石由香利<sup>1</sup>・加藤鎌司<sup>1</sup>(1. 岡山大学, 2. 作物研, 3. 農林水産技術会議事務局) P-04:世界各地のメロン在来品種における *mtlREP* 多型。大谷瞬<sup>1</sup>・明石由香利<sup>1</sup>・山本達也<sup>2</sup>・西田英隆<sup>1</sup>・加藤鎌司<sup>1</sup>(1. 岡山大学, 2. 萩原農場) P-05:キュウリにおいて父性遺伝する *mtlREP* マーカーの配列多型。小谷紗也加<sup>1</sup>・明石由香利<sup>1</sup>・山本達也<sup>2</sup>・西田英隆<sup>1</sup>・加藤鎌司<sup>1</sup>(1. 岡山大学, 2. 萩原農場) P-06:マイクロサテライトマーカーによるノビル (*Allium grayi*) 遺伝的関係の評価。郭始光<sup>1</sup>・小倉久和<sup>1</sup>・塚崎光<sup>2</sup>・加藤鎌司<sup>3</sup>(1. 兵庫教育大学, 2. 野茶研, 3. 岡山大学) P-07:パン用小麦品種「ミナミノカオリ」の製パン性には *Gli-D1* が関係する。高田兼則・池田達哉・谷中美貴子・石川直幸(近中四農研センター) P-08:蕊化花卉あるいは離弁花冠を有する采咲きツツジの形態および遺伝子分析。田崎啓介(鳥根大学) P-09:ツツジの二重咲き品種における B クラス MADS-box 遺伝子の発現解析。古賀美紗都(鳥根大学) P-10: Molecular cytological studies on meiotic chromosome association in wheat lines with chromosomes of *Leymus* species. Seong-Woo Cho, Yosuke Moritama, Takayoshi Ishii, Hiroyuki Tanaka, and Hisashi Tsujimoto (Tottori U.) P-11: ムギ類とパルミレットの遠縁交雑; 雑種胚細胞内部でのパルミレット染色体の挙動。石井孝佳(鳥取大学) P-12: 小麦粉品質改良に向けた異種染色体由来種子貯蔵タンパク質の構造解析。荒川達也(鳥取大学) P-13: コムギ種子に含まれる微量元

素の解析。熊谷渉(鳥取大学) P-14: パルミレットの /CENH3/ 遺伝子単離と抗体作製。砂村直洋(鳥取大学) P-15: コムギ縞萎縮病抵抗性に関する抵抗性遺伝子のマッピング。永井良亮(鳥取大学) P-16: *Agropyron elongatum* の高製パン性遺伝子の日本コムギへの導入と小麦粉品質の評価。鍋内千里(鳥取大学) P-17: タルホコムギがもつ小麦粉品質関連の種子貯蔵タンパク質の構造解析。山根達朗(鳥取大学) P-18: 植物の葉老化制御に関与する転写因子の解析。中岡俊・草場信(広島大学) P-19: シロイヌナズナ老化誘導性遺伝子 *AtSGRI* のプロモーター解析。宮田麗香・小敷賀翔・草場信(広島大学) P-20: ネギーシャロット単一異種染色体添加系統における転写産物量と代謝産物量の関連性について。中島徹也(山口大学) P-21: Exploitation of novel breeding materials toward germplasm enhancement of *Allium* spice crops in Southeast Asia. Vu Quynh Hoa (Yamaguchi U.) P-22: タマネギおよびシャロット倍加半数体系統間の DNA 多型検出とそれらの F<sub>1</sub> 雑種を用いた雌性配偶子由来半数体の作出。岩田智志(山口大学) P-23: ベトナム北部産キュウリ遺伝資源の形質評価および育種利用。久馬千明(山口大学) P-24: Flower color and flavonoid synthesis gene in evergreen azalea. Akira Nakatsuka (Shimane U.)

辻本壽・田中裕之(鳥取大学農学部)

日本育種学会四国談話会(第75回講演会および公開シンポジウム)

公開シンポジウム(日本作物学会四国支部と共催)が平成22年11月25日(木)に、日本育種学会四国談話会第75回講演会が11月26日(金)に、共に愛媛県農林水産研究所において開催された。公開シンポジウムでは5題の発表があり、参加者は71名であった。講演会の参加者は約20名で、14題の発表があった。講演題目はそれぞれ次の通りであった。

1. 公開シンポジウム: (1) ムギ類育種研究の現状。柳沢貴司(近畿中国四国農業研究センター), (2) ポストさぬきの夢2000の研究。藤田究(香川県農業試験場), (3) 瀬戸内地域におけるハダカムギの栽培研究の取り組み。山口憲一(愛媛県農林水産研究所), (4) 大麦精麦の現場から。高畑光宏(株式会社高畑精麦), (5) 味噌製造の現場から。曾我尚登(株式会社曾我増平商店氏)
2. 講演会: シュンランの葉と花における形態変異の相関関係。室井美和子<sup>1</sup>・○早川宗志<sup>1,2</sup>・濱地秀徳<sup>1</sup>・松山佳那子<sup>1</sup>・宮田晴希<sup>1</sup>・大賀教平<sup>1</sup>・村松優子<sup>1</sup>・齋藤倫広<sup>1</sup>・横山潤<sup>3</sup>・福田達哉<sup>1</sup>(1. 高知大農, 2. 愛媛大院連農, 3. 山形大理), 接ぎ木キメラ作出の基礎としてのイチゴ短縮茎伸長方法の検討。○稲垣みなみ・大橋広明(愛媛大農), 竹堆肥「竹宝」の鉢花栽培への利用可能性の検討。○中井綾子・大橋広明(愛媛大農), スゼンジナ, テイレギへのニーム核油粕抽出物による防

虫効果の検討. ○森川宏昭・大橋広明(愛媛大農), 4倍体デルフィニウム属植物における種間雑種の育成について. 岡本充智<sup>1</sup>・石井悠子<sup>2</sup>(1. 愛媛農水研, 2. 愛媛農大), テンナンショウ属植物の性転換に関する研究. ○松山佳那子<sup>1</sup>・村松優子<sup>1</sup>・横山菜々子<sup>1</sup>・室井美和子<sup>1</sup>・早川宗志<sup>1,2</sup>・福田達哉<sup>1</sup>(1. 高知大農, 2. 愛媛大院連農), マメ科植物の左右相称花形成に関する形態学的及び解剖学的研究. ○室井美和子<sup>1</sup>・早川宗志<sup>1,2</sup>・伊藤桂<sup>1</sup>・横山潤<sup>3</sup>・福田達哉<sup>1</sup>(1. 高知大農, 2. 愛媛連大, 3. 山形大理), 新規食材用途に向けたサトイモ品種の特性評価. ○浅海英記・石々川英樹・伊藤史朗(愛媛農水研), ツクネイモにおける砂を利用した栽培による芋形状向上効果の検討. 浅海英記<sup>1</sup>・北岡康平<sup>2</sup>(1. 愛媛農水研, 2. 愛媛農大), サトイモ品種「媛かぐや」の均一な親芋サイズ生産方法の検討. 浅海英記<sup>1</sup>・高橋諒<sup>2</sup>(1. 愛媛農水研, 2. 愛媛農大), Yield and related traits in high-yielding rice lines carrying *Ur1* gene. ○Malangen, S.<sup>1</sup>, T. Iwakura<sup>2</sup>, K. Nakamura<sup>2</sup>, T. Hata, Y. Takemura<sup>2</sup>, M. Urabe<sup>2</sup>, M. Murai<sup>2</sup>(1. United Grad. Sch. Agr. Sci., Ehime U., 2. Fac. Agr. Kochi U.), *Pelargonium* 属 *Hoarea* 節黄花野生種の花色と花色素. Sukhumpinij Pornpan<sup>1</sup>・本藤加奈<sup>2</sup>・柿原文香<sup>2</sup>(1. 愛媛大院連農, 2. 愛媛大農), RAPD 法による *Pelargonium* 属 *Hoarea* 節の多型の検出. ○飯田大輔<sup>1</sup>・本藤加奈<sup>1</sup>・田中美奈<sup>2</sup>・岡本充智<sup>2</sup>・栗坂信之<sup>2</sup>・柿原文香<sup>1</sup>(1. 愛媛大農, 2. 愛媛農水研), コルヒチン処理による *Pelargonium rapaceum* (L.) L'Hérit の倍数体作出の検討. ○稲田真顕<sup>1</sup>・Sukhumpinij Pornpan<sup>2</sup>・柿原文香<sup>1</sup>・本藤加奈<sup>1</sup>(1. 愛媛大農, 2. 愛媛大院連農)

柿原文香(愛媛大学農学部)

## 日本育種学会会員異動(2010.10.21 ~ 2011.1.20)

◇ 普通会員入会: 松田修一(北海道), 小杉俊一, 夏目俊(岩手), 古賀郁美, 笹川由紀, 柴谷多恵子, 中野年継, 七里吉彦, 朴恵卿, 八木雅史, 李進斌(茨城), 地主建志(千葉), 前田寛明(富山), 南出圭祐(石川), 安益公一郎, 梅根一夫, 平野恒, 保浦徳昇(愛知)

◇ 学生会員入会: 河西めぐみ, 夏目知子, 古川薫, 本間雄二郎(北海道), 小林雄, 齋藤生(青森), 今健亘, 関菜月, 千葉さくら, 日野友恵, 藤原奈津美(岩手), 橋本奈々, 菱沼理恵, 松野幸也(茨城), KONGKYNET, 星川健(千葉), 亀岡啓, 三田村芳樹, 宮川直人, 矢部志央理, 吉田雄磨, 李マイ, 駱楽(東京都), 浅間尚海, 祝延幸, 近藤和佳, 杉澤幹起, 平林卓也, 吉田圭祐(神奈川), 瀬上修平, 鳥山真衣(福井), 安藤考紀(愛知), 横田知典(滋賀), 森悠太(京都), 尾山恵利子, 松尾千廣, 森山竜二(大阪), 大塚光晴, 岡本裕樹, 山本知佳(兵庫), 金城裕介(奈良), 氷見英子, 平島由記美(岡山), 白木英介(広島), 井上佳美, 村上孝裕(福岡)

◇ 外国会員入会: HARMA HARI CHAND(インド)

◇ 外国団体会員: NORTH CAROLINA STATE UNIVERSITY(アメリカ合衆国)

## 住所変更等

◇ 普通会員: 高橋宙之, 西村努(北海道), 高木恭子, 早野由里子(茨城), 岡村正愛(栃木), 森田竜平(埼玉), 高橋弘子(千葉), 安彦真文, 岩田洋佳, 二宮正士(東京都), 山根京子(岐阜), 寺田理枝(愛知), 山岡尚平(京都), 吉田晋弥(兵庫), 長峰司(広島), 小川紹文(福岡), 上床修弘(熊本)

◇ 外国会員: PARK CHUL SOO(大韓民国), TSUJI KOJI(中華人民共和国)